

2024年度 第2四半期 決算説明会

2024年11月8日

ブラザー工業株式会社

執行役員財務担当 中島 聡

当資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関するさまざまなリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2024年度 第2四半期（7月-9月）実績

主にP&S事業の売上増や為替のプラス影響により、売上収益・事業セグメント利益は増収増益となるものの、為替差損などの影響により営業利益は減益となる

◆ 売上収益 2,125億円/+6.7%（前年同期比）

- ✓ 主に、P&S事業において本体・消耗品ともに販売が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響により増収

◆ 事業セグメント利益 202億円/+14.9%（前年同期比）

- ✓ 販管費・販促費が増加したものの、主にP&S事業における価格対応の効果に為替のプラス影響も加わり、増益となる

◆ 営業利益 167億円/▲5.4%（前年同期比）

- ✓ 為替差損などの影響により減益

2024年度 通期業績予想

主にマシナリー事業の産業機器における市況回復の遅れを受け、売上収益・各段階利益を下方修正

2024年度 第2四半期決算

主にP&S事業の売上増や為替のプラス影響により、売上収益・事業セグメント利益は増収増益となったものの、為替差損などの影響により営業利益は減益となりました。

売上収益

前年比 6.7%増の **2,125億円** となりました。
主にP&S事業において本体・消耗品ともに販売が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響により、増収となりました。

事業セグメント利益

前年比 14.9%増の **202億円** となりました。
販管費・販促費が増加したものの、主にP&S事業における価格対応の効果に為替にプラス影響も加わり、増益となりました。

営業利益

前年比 5.4%減の **167億円** となりました。
為替差損などの影響により、減益となりました。

2024年度 通期業績予想

主にマシナリー事業の産業機器における市況回復の遅れを受け、売上収益・各段階利益を下方修正します。

2024年度 第2四半期（7月-9月）業績

主にP&S事業の売上増や為替のプラス影響により、売上収益・事業セグメント利益は増収増益となるものの、為替差損などの影響により営業利益は減益となる

単位：億円

	23Q2	24Q2	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	1,992	2,125	133 (102)	6.7% (5.1%)
事業セグメント利益	176	202	26 (9)	14.9% (5.2%)
事業セグメント利益率	8.8%	9.5%		
その他の収益・費用	1	▲ 34	▲ 36	
営業利益	177	167	▲ 10	▲ 5.4%
営業利益率	8.9%	7.9%		
税引前利益	183	179	▲ 4	▲ 2.3%
親会社の所有者に帰属する				
当期利益	127	116	▲ 10	▲ 8.1%
USD	145.44	150.26	4.82	
EUR	157.70	164.27	6.57	

2024年度 第2四半期の売上収益は、主にP&S事業の売上増や為替のプラス影響により、前年同期比 133億円増の **2,125** 億円、事業セグメント利益は、26 億円増の **202** 億円となりました。

営業利益は、為替差損などの影響により、10 億円減の **167** 億円、親会社当期利益は、10 億円減の **116** 億円 となりました。

2024年度第2四半期 事業セグメント別実績

単位：億円

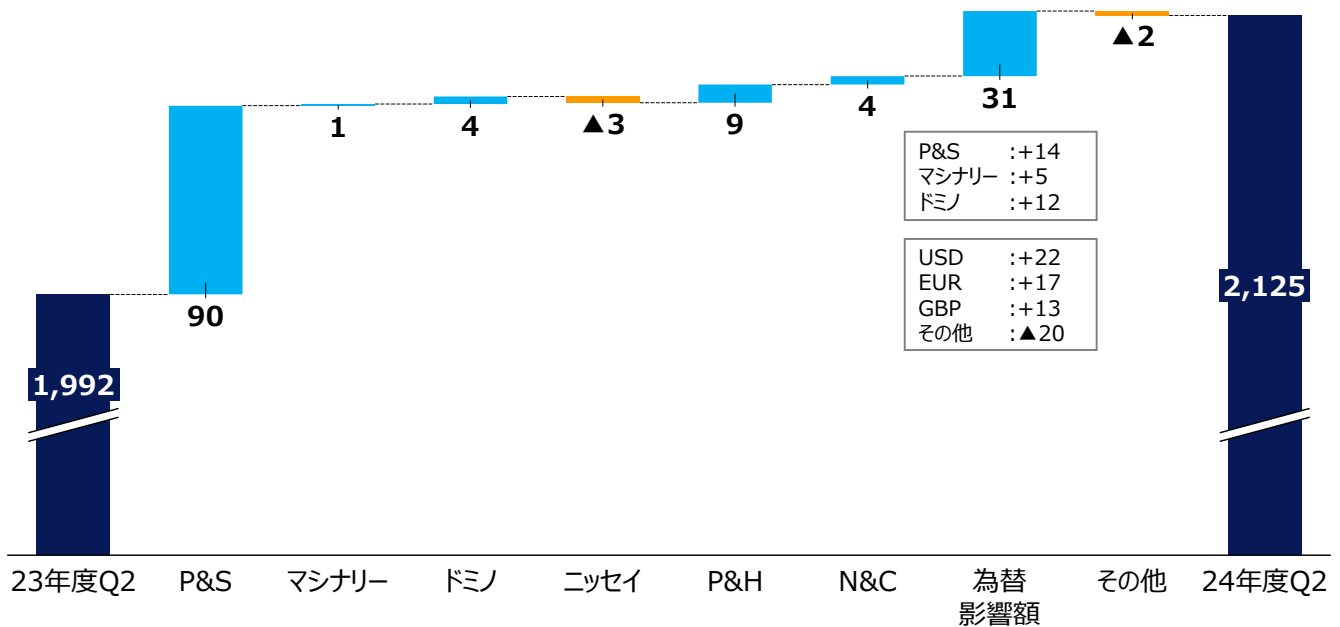
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	23Q2	24Q2	増減	23Q2	24Q2	増減	23Q2	24Q2	増減
P&S	1,216	1,320	104	143	171	29	140	164	24
マシナリー	204	209	5	9	5	▲4	9	1	▲8
ドミノ	283	298	16	17	16	0	18	10	▲8
ニッセイ	52	50	▲2	1	1	0	0	1	1
P&H	122	131	9	2	4	2	2	3	1
N&C	91	95	4	4	4	0	5	3	▲1
その他	24	22	▲2	0	0	1	3	▲16	▲18
合計	1,992	2,125	133	176	202	26	177	167	▲10

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

主に、P&S事業において本体・消耗品ともに販売が堅調に推移したことに加え、
為替のプラス影響により、増収となる

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2024年度 第2四半期の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器、ラベリングともに、本体・消耗品の販売が堅調に推移し、増収となりました。

・マシナリー

産業機器・工業用マシンともに、前年同期並みとなりました。

・ドミノ

製品本体の販売は減少したものの、消耗品が堅調に推移し、増収となりました。

・ニッセイ

設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

中級機・普及機が堅調に推移し、増収となりました。

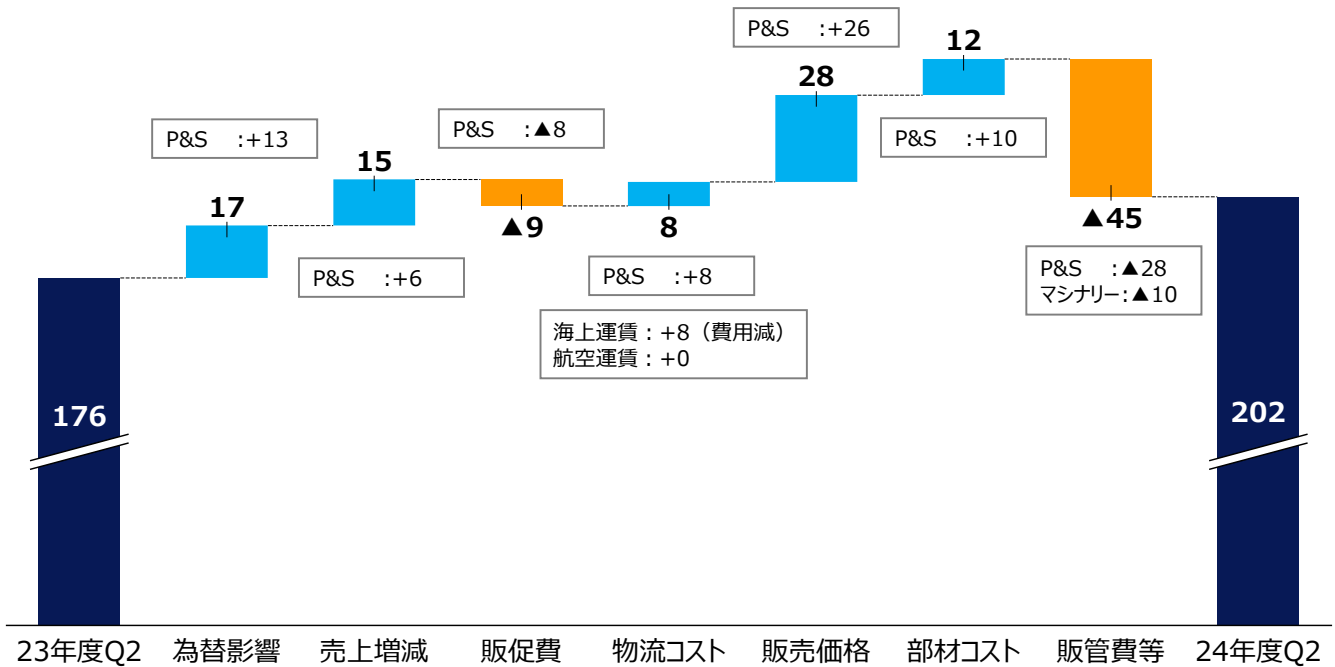
・N&C

カラオケ機器の販売が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 31 億円が加わり、
全社では 133 億円増となる **2,125 億円** となりました。

販管費・販促費が増加したものの、主にP&S事業における価格対応の効果に
為替のプラス影響も加わり、増益となる

単位：億円



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

7

事業セグメント利益の主な増減要因です。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

主にP&S事業における売上増などが寄与しました。

・販促費

主にP&S事業において、製品本体の販売が増加したこととともない、増加しました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことにより、減少しました。

・販売価格

主にP&S事業において、消耗品の価格対応の効果がありました。

・部材コスト

主にP&S事業において、部材価格の高騰が落ち着いたことにより、減少しました。

・販管費

主にP&S事業・マシンリー事業において、人件費を中心に増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 26 億円増の **202**億円となりました。

2024年度 上期（4-9月）累計業績

主に為替のプラス影響により、売上収益・事業セグメント利益は増収増益となる

単位：億円

	23年度 上期実績	24年度 上期実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	3,996	4,272	276 (70)	6.9% (1.7%)
事業セグメント利益	407	430	23 (▲40)	5.6% (▲9.8%)
事業セグメント利益率	10.2%	10.1%		
その他の収益・費用	▲10	▲44	▲35	
営業利益	397	385	▲12	▲3.0%
営業利益率	9.9%	9.0%		
税引前利益	410	415	5	1.1%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	289	281	▲8	▲2.6%
USD	141.31	152.30	10.99	
EUR	153.51	165.46	11.95	

2024年度 上期の売上収益は、主に為替のプラス影響により、前年同期比 276 億円増の **4,272 億円**、事業セグメント利益は、23 億円増の **430 億円**となりました。

営業利益は、為替差損などの影響により、12 億円減の **385 億円**、親会社当期利益は、8 億円減の **281 億円** となりました。

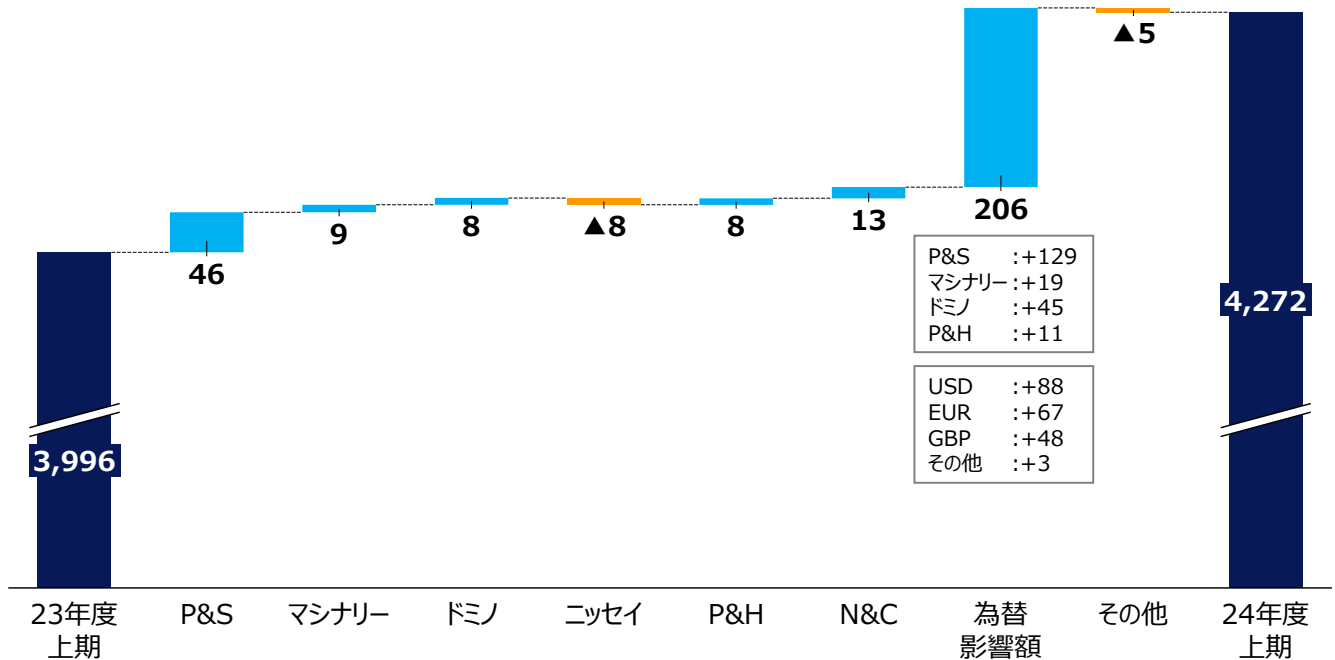
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	23年度 上期	24年度 上期	増減	23年度 上期	24年度 上期	増減	23年度 上期	24年度 上期	増減
P&S	2,488	2,663	175	336	350	15	320	332	12
マシナリー	392	419	27	19	13	▲6	21	10	▲10
ドミノ	539	592	53	38	34	▲4	36	27	▲9
ニッセイ	105	99	▲6	6	2	▲4	5	2	▲3
P&H	237	255	19	▲4	18	22	▲4	16	20
N&C	181	193	13	10	10	0	11	10	0
その他	55	50	▲5	3	4	0	9	▲12	▲21
合計	3,996	4,272	276	407	430	23	397	385	▲12

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績一覧です。

主に、P&S事業において消耗品が堅調に推移したことに加え、
為替のプラス影響もあり、増収となる

単位：億円



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2024年度上期の売上収益の増減要因です。

・P&S

通信・プリンティング機器、ラベリングともに販売が堅調に推移し、増収となりました。

・マシナリー

産業機器の売上は同水準にとどまったものの、工業用マシンは市況の回復などを受け販売が好調に推移し、増収となりました。

・ドミノ

製品本体の販売は減少したものの、消耗品が堅調に推移し、増収となりました。

・ニッセイ

設備投資需要の低迷により、減速機・歯車ともに減収となりました。

・P&H

中級機・普及機が堅調に推移し、増収となりました。

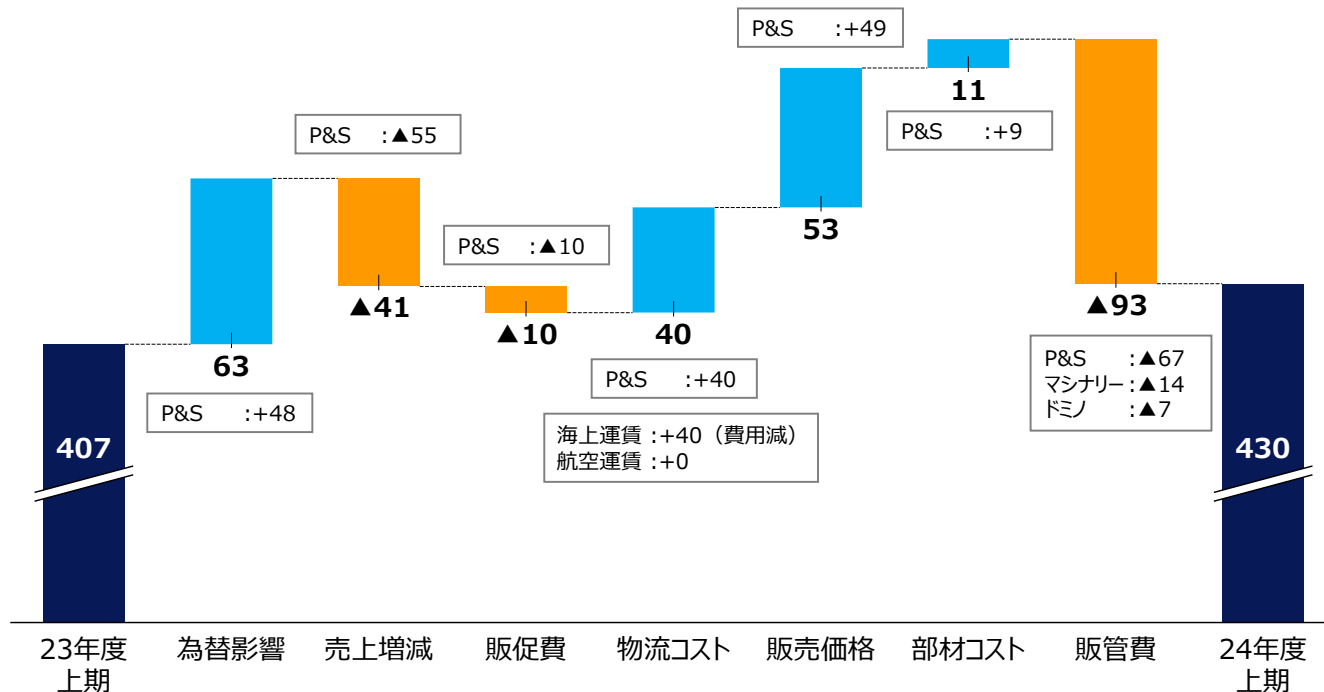
・N&C

カラオケ機器の販売が堅調に推移したことなどにより、増収となりました。

これらに、為替が円安に推移したことによるプラス影響 206 億円が加わり、
全社では 276 億円増の **4,272 億円** となりました。

販管費の増加などの影響を受けたものの、P&S事業における消耗品の価格対応の効果や物流コストの減少に、為替のプラス影響も加わり、増益となる

単位：億円



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

12

事業セグメント利益の増減要因です。主要素についてコメントします。

・為替影響

主にP&S事業で為替のプラス影響がありました。

・売上増減

主にP&S事業において、供給遅延およびモデルミックス・地域ミックスの変化などの影響がありました。

・物流コスト

主にP&S事業において、海上運賃の高騰が落ち着いたことなどにより、減少しました。

・販売価格

主にP&S事業において、価格対応の効果がありました。

・販管費

主にP&S事業、マシナリー事業において、人件費を中心に増加しました。

これらにより、事業セグメント利益は、前年同期比 23 億円増の **430** 億円となりました。

2024年度 通期業績予想

主にマシナリー事業の産業機器における市況回復の遅れを受け、
売上収益・各段階利益を下方修正

単位：億円

	前回予想	今回予想	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率	23年度 実績	増減 () は為替影響 除く増減	増減率 () は為替影響 除く増減率
売上収益	8,800	8,650	▲150 (▲302)	▲1.7% (▲3.4%)	8,229	421 (386)	5.1% (4.7%)
事業セグメント利益	880	800	▲80 (▲155)	▲9.1% (▲17.6%)	756	44 (▲7)	5.8% (▲0.9%)
事業セグメント利益率	10.0%	9.2%			9.2%		
その他の収益・費用	0	▲40	▲40		▲258	218	
営業利益	880	760	▲120	▲13.6%	498	262	52.6%
営業利益率	10.0%	8.8%			6.1%		
税引前利益	880	800	▲80	▲9.1%	525	275	52.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	630	570	▲60	▲9.5%	316	254	80.1%
USD	145.00	146.83	1.83		144.40	2.43	
EUR	155.00	160.97	5.97		156.80	4.17	

●予想部分の為替レート：1 USD = 140円、1 EUR = 155円

通期の業績予想についてです。

主にマシナリー事業の産業機器における市況回復が想定以上に遅れていることを受け、
上期の下振れ分を反映するとともに、下期の見直しを見直し、
2024年5月9日に公表した前回予想から、売上収益・各段階利益を下方修正します。

売上収益は、150億円減の **8,650億円**
 事業セグメント利益は、80億円減の **800億円**
 営業利益は、120億円減の **760億円**
 親会社当期利益は、60億円減の **570億円** に引き下げます。

なお、業績予想の前提となる予想部分の為替レートは、ユーロは1EUR = 155円から変更ありませんが、
ドルは1 USD = 145円から140円へ変更しました。

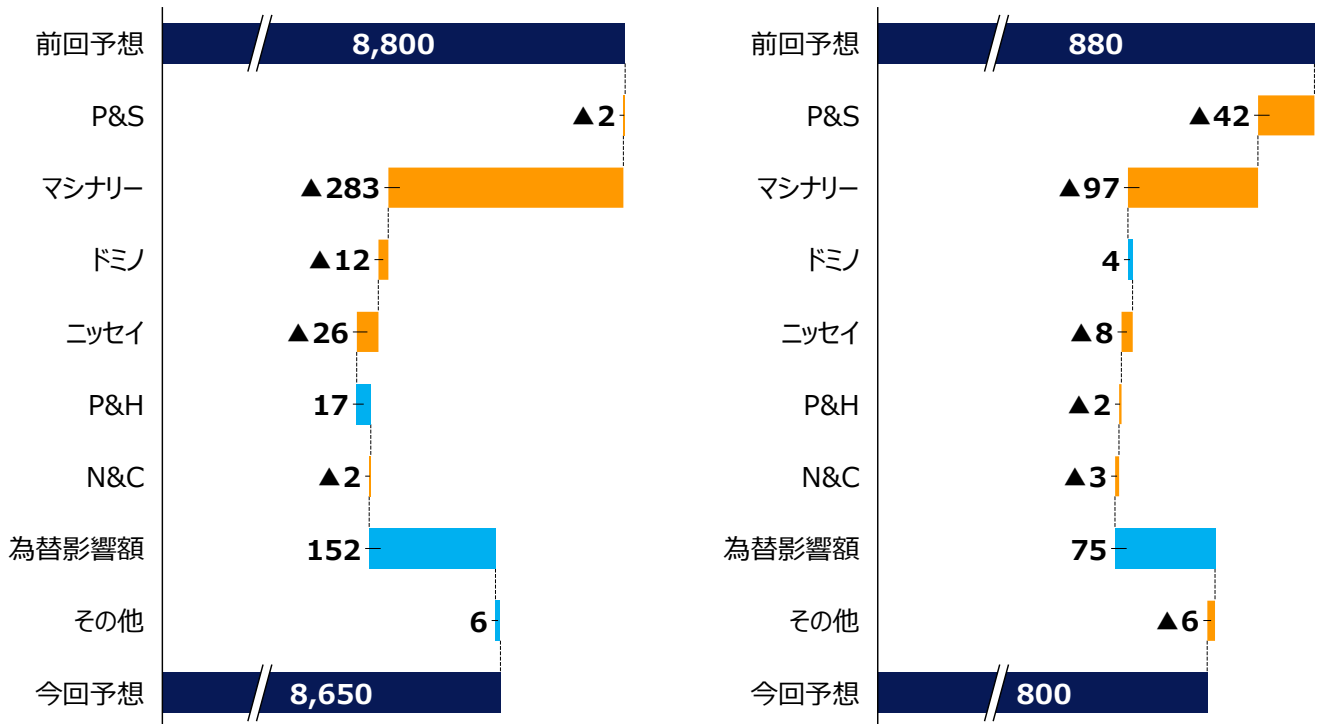
	売上収益			事業セグメント利益			営業利益		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
P&S	5,228	5,326	98	604	630	26	604	613	9
マシナリー	1,171	900	▲271	127	34	▲93	127	32	▲95
ドミノ	1,137	1,160	23	45	47	2	45	41	▲4
ニッセイ	234	209	▲25	13	6	▲8	13	6	▲8
P&H	538	560	22	54	56	2	54	56	2
N&C	390	388	▲2	24	20	▲4	24	21	▲3
その他	102	108	6	13	6	▲6	13	▲8	▲21
合計	8,800	8,650	▲150	880	800	▲80	880	760	▲120

※「その他」にセグメント間取引消去額を含みます

事業セグメントごとの業績予想の一覧です。

売上収益の増減

事業セグメント利益の増減



※増減額は為替影響を除いた実質ベース

2024年度の売上収益・事業セグメント利益の前回予想からの主な修正要因です。

・P&S

下期における販管費を中心とした経費の増加などを見込み、事業セグメント利益の見通しを引き下げます。

・マシナリー

産業機器の上期の下振れ分の反映と下期の見通しを引き下げ、売上収益、事業セグメント利益ともに大幅に下方修正します。

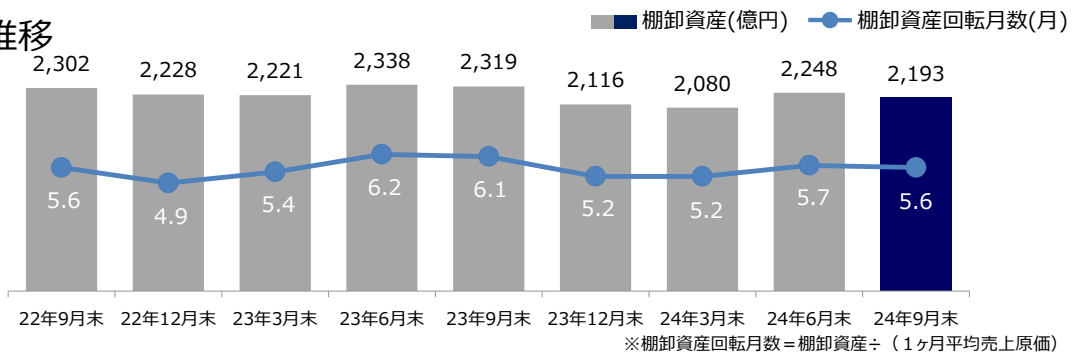
これらに、為替のプラス影響を織り込むものの、売上収益、事業セグメント利益の通期の見通しを引き下げます。

単位：億円

	24年3月末	24年9月末	増減
流動資産	5,419	5,454	35
現預金	1,661	1,666	5
棚卸資産	2,080	2,193	113
非流動資産	3,542	3,485	▲57
負債合計	2,280	2,255	▲25
有利子負債	6	6	0
株主資本	6,680	6,684	3
総資産	8,961	8,939	▲22

	24年3月末	24年9月末	増減
ネット・キャッシュ	1,655	1,660	5
株主資本比率	74.5%	74.8%	0.2
ROE	5.0%	-	-

棚卸資産推移



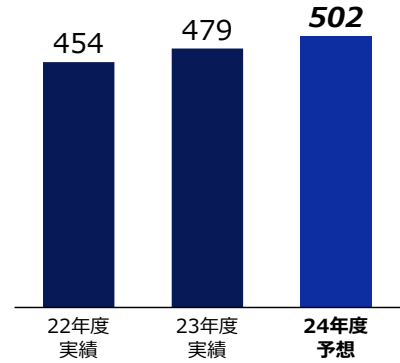
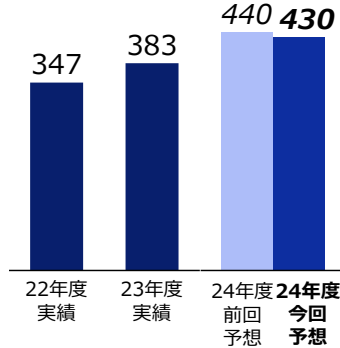
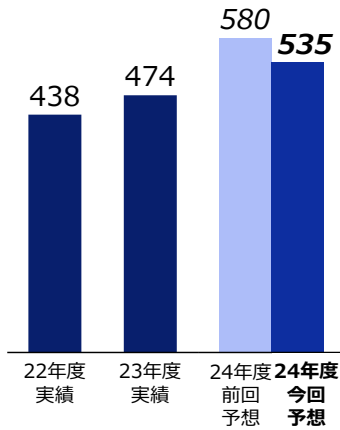
棚卸資産・棚卸資産回転月数については、大きな変動はありません。

単位：億円

設備投資

減価償却費

研究開発費



設備投資内訳

	22年度 実績	23年度 実績	24年度 前回予想	24年度 今回予想
産業用領域	82	100	118	104
民生用領域他	356	375	462	431
計	438	474	580	535

研究開発費内訳

	22年度 実績	23年度 実績	24年度 予想
産業用領域	123	134	147
民生用領域他	331	346	355
計	454	479	502

*産業用領域は、マシナリー事業、ドミノ事業、ニッセイ事業の内訳を合算したものです。

設備投資・減価償却費については、上期の進捗状況に鑑み、2024年度の見通しを引き下げました。
研究開発費については、前回公表時からの変更はありません。

株主還元

2024年度の間配当は、1株当たり50円とする。
年間の配当予想は変更なし

【基本方針】 安定的かつ継続的な株主還元の実施

- 1株あたり年間**68円**の配当を下限
- 業績の状況等に応じて配当水準の引き上げを含めた追加的な株主還元を検討、加えて、自己株式の取得については機動的に実施

	中間配当	期末配当	年間配当
2022年度	34円	34円	68円
2023年度	34円	50円	84円
2024年度	50円	50円（予定）	100円（予定）

2024年度の間配当は、1株当たり **50** 円とします。
年間の配当予想については、前年度比16円増配の100円から変更ありません。

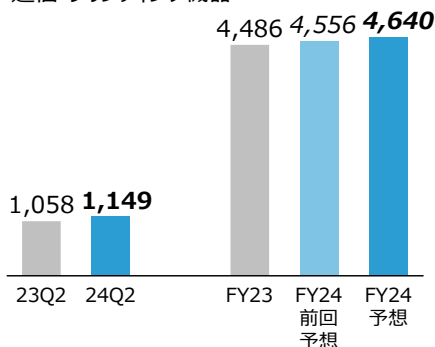
セグメント業績概要

単位：億円

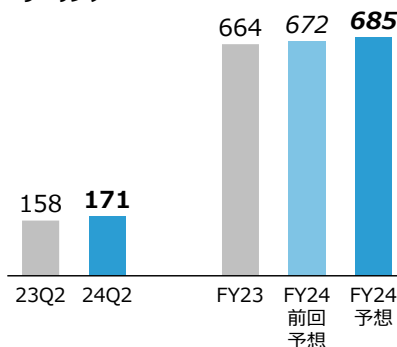
	23Q2	24Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	1,216	1,320	8.5%	7.4%	5,149	5,228	5,326	3.4%	3.3%
通信・プリンティング機器	1,058	1,149	8.6%	7.6%	4,486	4,556	4,640	3.5%	3.4%
米州	450	462	2.6%	6.0%	1,742	1,778	1,780	2.2%	5.6%
欧州	310	345	11.3%	6.7%	1,449	1,434	1,494	3.1%	0.8%
アジア他	207	238	14.8%	10.4%	866	892	925	6.8%	3.9%
日本 (OEMを含む)	90	104	15.4%	12.6%	429	452	442	3.1%	1.8%
ラベリング	158	171	8.0%	5.9%	664	672	685	3.2%	2.6%
米州	75	83	10.5%	10.5%	304	303	309	1.8%	3.2%
欧州	47	50	5.5%	1.1%	208	211	218	4.8%	2.4%
アジア他	25	27	7.4%	3.2%	104	106	108	2.9%	0.1%
日本	11	11	3.2%	-	48	52	51	6.3%	-
事業セグメント利益	143	171	20.0%	-	625	604	630	0.8%	-
営業利益	140	164	17.0%	-	610	604	613	0.4%	-

<売上収益>

通信・プリンティング機器

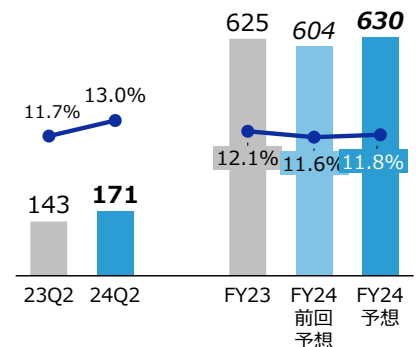


ラベリング



<事業セグメント利益>

● 利益率



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

22

P&S事業の第2四半期の売上収益は **1,320** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、プラス7.4%となりました。

・通信・プリンティング機器

売上収益は **1,149** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス7.6%となりました。
製品本体・消耗品ともに販売が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。
詳細は次のページでご説明します。

・ラベリング

売上収益は **171** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス5.9%となりました。
製品本体・消耗品ともに販売が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

事業セグメント利益は、**171**億円。
販管費・販促費が増加したものの、
消耗品の価格対応の効果や部材・物流コストの減少に、為替のプラス影響もあり、増益となりました。

	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	24Q1	24Q2	24Q3	24Q4	22通期	23通期
レーザー (LBP)														
売上伸び率 (円ベース/前年比)														
本体	41%	45%	42%	36%	4%	-17%	-13%	-1%	-5%	2%	-	-	41%	-8%
消耗品	18%	-8%	0%	4%	3%	15%	11%	18%	11%	14%	-	-	3%	11%
売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)														
本体	25%	23%	21%	23%	-1%	-21%	-16%	-9%	-12%	2%	-	-	23%	-13%
消耗品	7%	-20%	-13%	-6%	-3%	7%	5%	7%	0%	12%	-	-	-8%	4%
インクジェット (IJP)														
売上伸び率 (円ベース/前年比)														
本体	18%	32%	46%	39%	5%	3%	-5%	-1%	18%	12%	-	-	33%	0%
消耗品	19%	-2%	8%	13%	15%	16%	0%	5%	-1%	6%	-	-	9%	8%
売上伸び率 (現地通貨ベース/前年比)														
本体	8%	16%	30%	27%	2%	-2%	-8%	-7%	10%	14%	-	-	20%	-4%
消耗品	11%	-12%	-2%	4%	9%	9%	-4%	-3%	-9%	4%	-	-	0%	2%
消耗品比率														
	53%	47%	49%	53%	54%	53%	54%	56%	55%	55%	-	-	51%	54%
販売台数伸び率 (前年比)														
レーザー (LBP)	14%	9%	3%	8%	-1%	-21%	-8%	-6%	-13%	-2%	-	-	8%	-9%
インクジェット (IJP)	8%	16%	42%	43%	4%	0%	-3%	-8%	13%	14%	-	-	26%	-2%

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

23

第2四半期における主要製品の売上伸び率についてです。(現地通貨ベース/前年同期比)

レーザー (LBP) の売上伸び率は、本体は プラス 2%、消耗品はプラス 12%、
インクジェット (IJP) の売上伸び率は、本体は プラス 14%、消耗品はプラス 4% となりました。

[製品本体]

レーザーについては、欧州において販売が減少したものの、それ以外の地域では堅調に推移しました。
インクジェットについては、各地域において販売が伸長しました。

[消耗品]

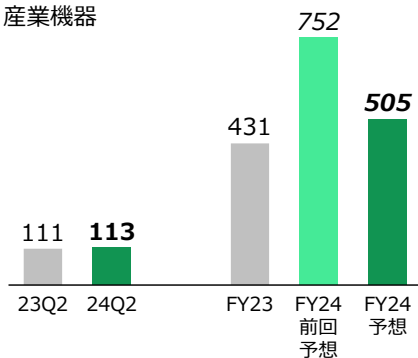
価格対応の効果もあり、レーザー・インクジェットともに堅調に推移しました。

単位：億円

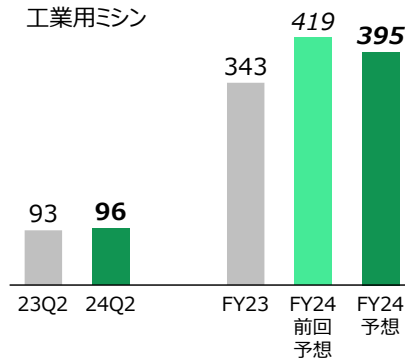
	23Q2	24Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	204	209	2.6%	0.4%	774	1,171	900	16.3%	15.1%
産業機器	111	113	2.5%	1.0%	431	752	505	17.2%	16.5%
米州	9	10	17.6%	-	36	53	38	5.6%	-
欧州	7	4	-40.4%	-	32	47	25	-19.4%	-
アジア他	55	70	28.1%	-	244	485	329	35.0%	-
日本	39	28	-28.6%	-	119	167	112	-6.0%	-
工業用ミシン	93	96	2.8%	-0.3%	343	419	395	15.1%	13.2%
米州	36	27	-22.8%	-23.5%	114	137	120	5.0%	5.2%
欧州	19	17	-12.4%	-15.9%	74	97	75	2.0%	-0.3%
アジア他	33	47	40.9%	34.9%	134	166	182	35.2%	31.5%
日本	6	5	-10.5%	-	20	19	18	-13.1%	-
事業セグメント利益	9	5	-47.5%	-	22	127	34	53.9%	-
営業利益	9	1	-85.6%	-	23	127	32	38.8%	-

<売上収益>

産業機器

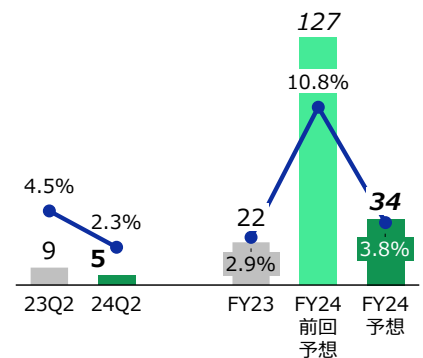


工業用ミシン



<事業セグメント利益>

● 利益率



※産業機器のアジア他・日本における、24Q2の売上収益・増減率、およびFY24売上収益予想・対前年増減率を修正いたしました

© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

24

マシナリー事業の第2四半期の売上収益は **209** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 0.4%となりました。

・産業機器

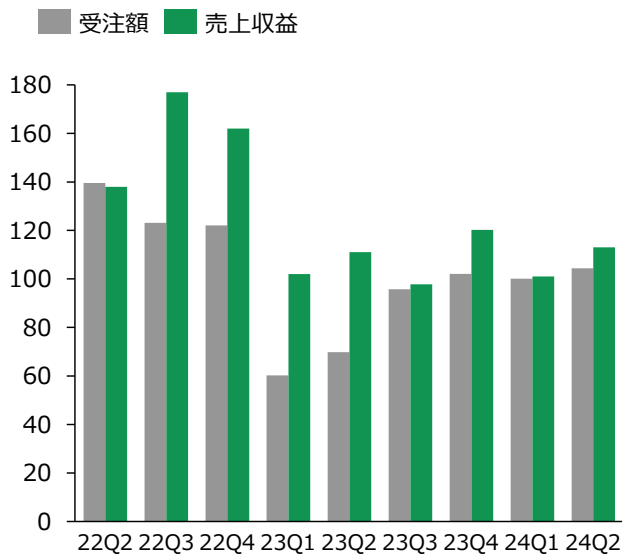
売上収益は、**113** 億円。現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 1.0%となりました。
中国を中心に、自動車・一般機械市場向けの設備投資需要の回復に力強さが見られなかったものの、
為替のプラス影響もあり、増収となりました。

・工業用ミシン

売上収益は、**96** 億円、現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス 0.3%となりました。
工業用ミシンについては、アジアにおけるアパレル向け設備投資需要が回復傾向にあり、販売が好調に推移しました。
ガーメントプリンターについては、主に欧米において競争環境が厳しくなっていることにより、販売が減少しました。
為替のプラス影響が加わり、工業用ミシン全体では増収となりました。

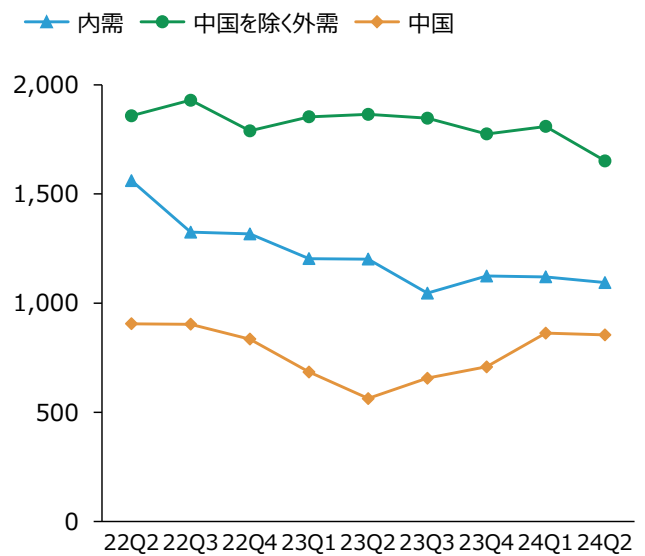
事業セグメント利益は、**5** 億円 となりました。
販管費の増加などにより、大幅な減益となりました。

受注額・売上収益の推移



※国内・海外の製品本体の受注額合計
海外受注額は各四半期の為替レートにて円換算

(参考) 日工会受注統計



※出所：(一社) 日本工作機械工業会 工作機械主要統計より

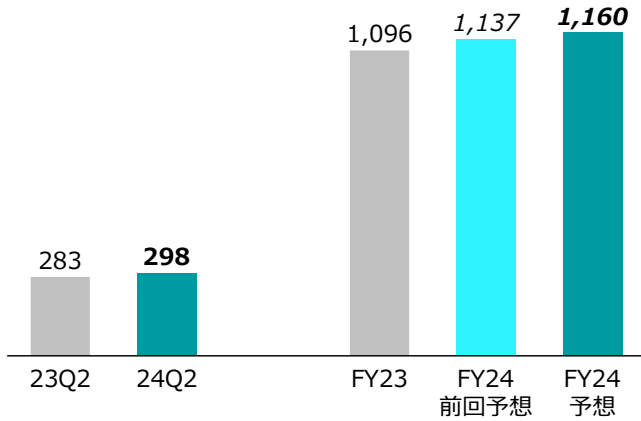
四半期ごとの売上収益と受注額です。
受注額は、国内受注と海外受注を合わせた製品本体受注の合計額です。

受注水準については、引き合いは着実に増加しているものの、先行きの不透明感を受け商談成立までに時間を要し、回復が遅れています。

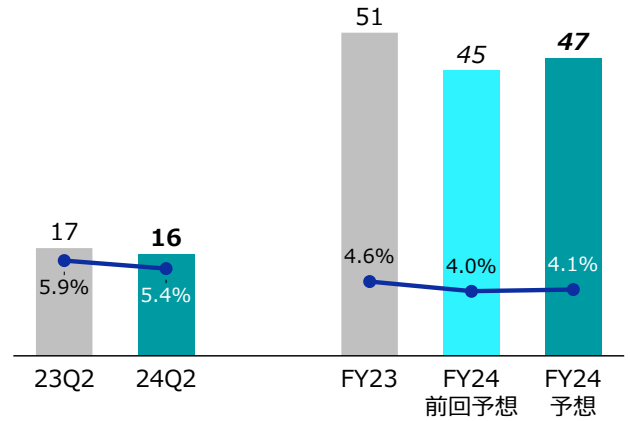
単位：億円

	23Q2	24Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24 予想	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	283	298	5.5%	1.3%	1,096	1,137	1,160	5.8%	3.8%
米州	70	77	9.2%	10.2%	281	298	298	6.0%	6.8%
欧州	122	131	7.4%	-3.6%	469	464	506	8.0%	0.8%
アジア他	81	80	-0.7%	0.3%	310	336	314	1.2%	4.6%
日本	10	10	7.1%	-	36	40	41	14.9%	-
事業セグメント利益	17	16	-2.7%	-	51	45	47	-7.3%	-
営業利益	18	10	-43.2%	-	-241	45	41	-	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

26

ドミノ事業の第2四半期の売上収益は **298** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、プラス 1.3%となりました。

製品本体は、主に欧州において設備投資需要が軟調に推移したことにより、C&M・DPともに販売が減少しました。
消耗品は、引き続き堅調に推移しています。
全体では、為替のプラス影響も加わり、増収となりました。

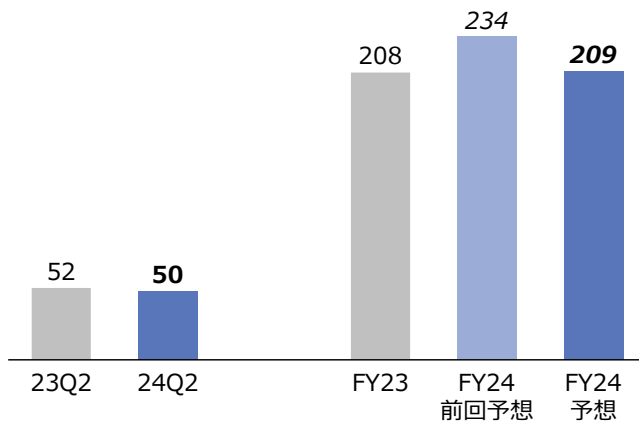
事業セグメント利益は、**16** 億円。
人件費や基幹業務システムの刷新費用などの販管費の増加により、減益となりました。

営業利益は、為替差損の影響により、**10** 億円となりました。

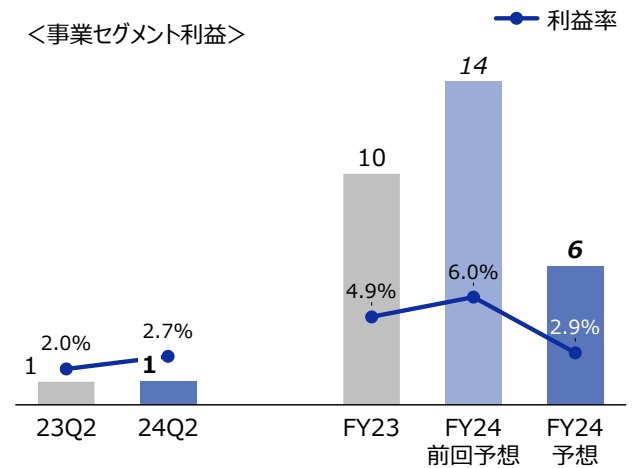
単位：億円

	23Q2	24Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	52	50	-4.8%	-5.7%	208	234	209	0.3%	-0.3%
米州	8	8	-5.4%	-8.6%	33	37	30	-8.7%	-9.9%
欧州	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アジア他	8	8	-3.8%	-6.3%	35	38	34	-2.0%	-3.3%
日本	36	34	-4.9%	-	141	160	144	2.7%	-
事業セグメント利益	1	1	27.7%	-	10	14	6	-41.2%	-
営業利益	0	1	129.3%	-	10	14	6	-39.5%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

27

ニッセイ事業の第2四半期の売上収益は **50** 億円。
現地通貨ベースでの伸び率は、マイナス5.7%となりました。

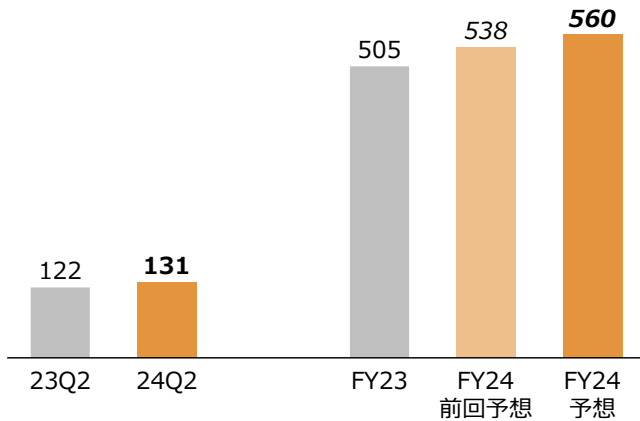
設備当時需要の低迷により、減速機・歯車ともに販売が低調に推移し、減収となりました。

事業セグメント利益は、**1** 億円。
減収となったものの、経費の減少などにより、前年の水準を上回りました。

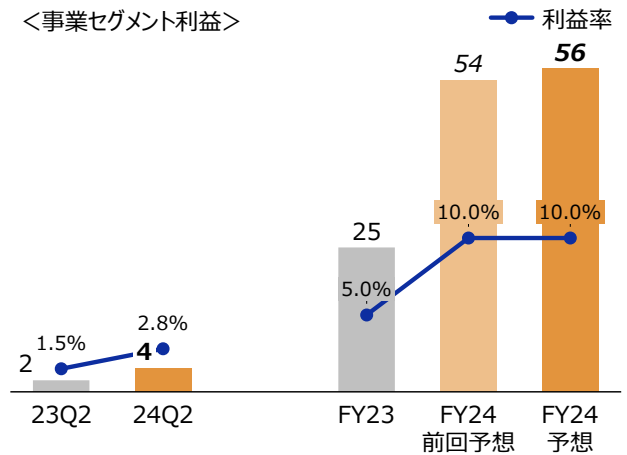
単位：億円

	23Q2	24Q2	増減率	為替影響 除く増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率	為替影響 除く増減率
売上収益	122	131	7.2%	7.2%	505	538	560	10.9%	11.7%
米州	77	84	8.8%	10.8%	300	329	339	13.2%	16.0%
欧州	27	28	3.1%	-0.9%	126	126	135	6.9%	4.6%
アジア他	12	12	-0.4%	-4.3%	51	54	56	10.2%	7.2%
日本	6	7	21.7%	-	28	29	30	6.7%	-
事業セグメント利益	2	4	98.7%	-	25	54	56	122.6%	-
営業利益	2	3	54.0%	-	25	54	56	125.9%	-

<売上収益>



<事業セグメント利益>



© 2024 Brother Industries, Ltd. All Rights Reserved.

28

P&H事業の第2四半期の売上収益は **131** 億円、
現地通貨ベースの伸び率は、プラス 7.2%となりました。

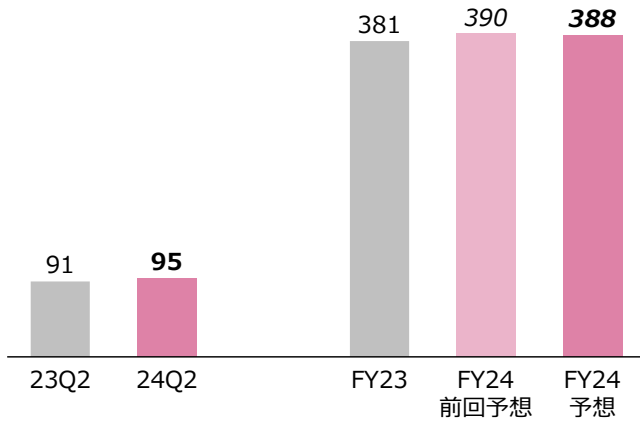
インフレや金利高などの影響を受け、高級機の販売が引き続き低調に推移したものの、
中級機・普及機が堅調に推移したことに加え、為替のプラス影響もあり、増収となりました。

事業セグメント利益は、**4** 億円。
増収効果に加え、工場の操業度の正常化を含め粗利率が改善したことにもよる、増益となりました。

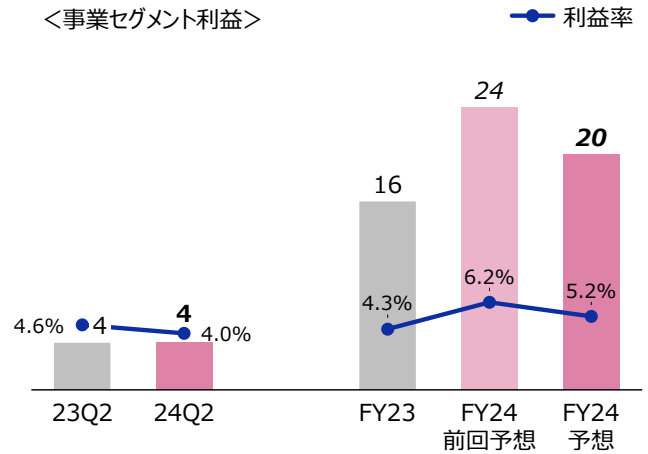
単位：億円

	23Q2	24Q2	増減率	FY23	FY24 前回予想	FY24	対前年 増減率
売上収益	91	95	4.2%	381	390	388	1.8%
事業セグメント利益	4	4	-8.7%	16	24	20	23.2%
営業利益	5	3	-27.5%	17	24	21	26.5%

<売上収益>



<事業セグメント利益>



N&C事業の第2四半期の売上収益は **95** 億円。前年同期比 プラス 4.2%となりました。

前年度に投入したカラオケ機器新製品などの販売が堅調に推移したことにより、増収となりました。

事業セグメント利益は、**4** 億円。

人件費を中心とした販管費の増加などにより、前年の水準を下回りました。

トピックス

インド南部のベンガルール近郊に工作機械の新工場が完成し、12月から稼働予定。
日本（刈谷）と中国（西安）に続く3カ所目の工作機械の生産拠点



完成したインドの新工場



工作機械の生産拠点

西安工場 ●

刈谷工場 ●

インド新工場（インド・ベンガルール近郊）

社名：ブラザーマシナリー（インド）
生産品：工作機械
仕向先：インド
完成：2024年9月
稼働開始予定：2024年12月

- ✓ インド国内のお客様に向けて、より短納期で製品をお届けできる体制を構築
- ✓ 屋上に太陽光パネルを設置
年間約600トンのCO₂排出削減を予定

2024年9月に、ブラザーマシナリー（インド）がインド南部のベンガルール近郊で建設を進めてきた工作機械の新工場が完成しました。

日本（刈谷）と中国（西安）に続く3カ所目の工作機械の生産拠点で、稼働開始は2024年12月を予定しています。

インド国内のお客様に向けて、より短納期で製品をお届けできる体制を構築し、二輪車や自動車を中心に幅広い市場の開拓を目指していきます。

また、新工場では、CO₂排出削減の取り組みとして、屋上に太陽光パネルを設置しています。工場の稼働に必要な電力の一部を再生可能エネルギーでまかなうことで、年間で約600トンのCO₂排出削減を実現する予定です。

ブラザーインダストリーズ（U.K.）において、トナーカートリッジの再生に続き、インクカートリッジの再生を開始し、資源循環の取り組みを加速



ブラザーインダストリーズ(U.K.)



インクカートリッジの再生工程における自動化ライン

- ✓ 使用済みインクカートリッジの回収から再出荷まで行う再生の取り組みを開始。持続可能な社会の実現に向けて廃棄物のさらなる削減を目指す
- ✓ 20年にわたるトナーカートリッジの再生経験を活かし、インクカートリッジの再生に必要な分類、清掃、検査などのプロセスを効率化、自動化

2024年9月から、英国の生産拠点であるブラザーインダストリーズ(U.K.)において、使用済みインクカートリッジを欧州各地から回収し、新品と同一品質を持つインクカートリッジへと再生して出荷する取り組みを開始しました。

ブラザーグループでは、2004年にトナーカートリッジの再生を開始し、2024年3月末までに、グループ全体で4,000万個以上のトナーカートリッジを再生してきました。

20年にわたるトナーカートリッジの再生経験を活かし、インクカートリッジの再生に必要な分類、清掃、検査などのプロセスを効率化、自動化しています。

これまで行ってきたトナーカートリッジに加えて、インクカートリッジの再生を進めることで、持続可能な社会の実現に向けて廃棄物のさらなる削減を目指します。

brother
at your side

今後も引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。

ビジネス領域		事業		分野（主な製品・サービス群）					
産業用領域	マシンリー・FA 領域	ニッセイ		 減速機 歯車	 工作機械	 工業用ミシン			
		マシンリー	産業機器						
	産業用印刷 領域		工業用 ミシン	工業用 ミシン	 ガーメントプリンター	 コーティング・ マーキング機器	 デジタル印刷機		
ドミノ									
民生用領域	プリンティング 領域	P&S (プリン ティング& ソリューションズ)	ラベリング	業務用 ラベリング	 業務用ラベル プリンター	 モバイルプリンター	 ラベルライター	 プリンター	 複合機
			汎用 ラベリング	汎用 ラベリング					
	ホーム・ カルチャー 領域	通信・プリンティング		P&H (パーソナル&ホーム)		 家庭用ミシン	 カuttingマシン	 通信カラオケ機器	
N&C (ネットワーク&コンテンツ)									